

2016年7月14日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

岐阜県体育協会と包括連携協定

「競技力向上」「健康増進」「スポーツによる地域活性化」

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子、以下大学）は、公益財団法人岐阜県体育協会（会長 小野木 孝二、以下協会）と連携協定を結ぶことになりました。

本学には、硬式野球部、陸上競技部をはじめ、ゴルフ部、バスケットボール部、弓道部など全国や世界で活躍するアスリートがいます。また、**2017（平成 29）年度には、スポーツ健康科学部（認可申請中）を新設する予定**にしており、これまで実践してきた福祉、健康、教育、医学分野とコラボレーションした研究とともに、それらの活動を通して、スポーツに寄与する学生の養成をしていきます。

今回の協会との包括連携協定では、**「競技スポーツの競技力向上」「スポーツによる県民の健康増進」「スポーツ活動を通じた地域貢献」**などを中心に、**岐阜県のスポーツ振興、岐阜県民の心身の健全な発達や明るく豊かで活力ある社会の実現に寄与**することを目指します。

記

【連携協定締結式】

- 日時 2016（平成 28）年 7 月 27 日（水）午前 10 時 30 分～
- 場所 岐阜県体育協会（岐阜メモリアルセンター）
岐阜市長良福光大野 2675-28 電話 058-297-2567
- 日程 開 会（午前 10 時 30 分～）
中部学院大学学長あいさつ
中部学院大学短期大学部学長あいさつ
岐阜県体育協会会長あいさつ
協定書署名
写真撮影
閉 会
- 出席者 岐阜県体育協会 小野木 孝二 会長
中部学院大学 古田 善伯 学長
中部学院大学短期大学部 片桐 多恵子 学長 ほか

■ 具体的な連携活動内容

(1) 県内の競技スポーツの競技力向上に関すること

協会は国民体育大会をはじめとする全国大会等において活躍する選手を育成するため、加盟競技団体に対する支援事業を展開するとともに、2020年東京オリンピック競技大会に岐阜県ゆかりの選手を輩出するため、トップアスリートに対する科学的なサポートに取り組んでいる。大学においても、全国や世界で活躍できる選手に対する科学的なサポートを行う方針であり、両者の有するこれらの資源を有効活用することで県内スポーツの競技力向上に貢献していく。

(2) スポーツによる県民の健康増進に関すること

協会は県民の健康増進や体力の向上を目指し、岐阜県民スポーツ大会をはじめとする様々なスポーツイベントを開催しており、このようなイベントに対し大学は指導者や学生ボランティアを派遣することでスポーツによる県民の健康増進に貢献していく。

(3) スポーツ活動を通じた地域の活性化に関すること

協会は生涯にわたってスポーツに親しむ環境を整備するため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成に取り組んでいる。大学においては、地域におけるスポーツ活動に対して、積極的に指導助言並びに協力体制をとるなど、交流の場を広げており、両者が連携することでスポーツ活動を通じた地域の活性化に貢献していく。

(4) その他連携が有効に機能するために必要なこと

上記の他、インターンシップの派遣・受入を通じた人材の育成や、両者各々が実施する事業において相乗効果を生むための連携を図る取り組みを通じて、社会の発展に貢献していく。

■ 参考（本学の概要など）

大学院、大学4学部5学科、短期大学部2学科1専攻、通信教育部、留学生別科

- ・大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部
教育学部子ども教育学科
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科
経営学部経営学科
- ・短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学教育研究支援部研究支援課 担当：浅野

TEL:0575-24-2238（関キャンパス）Mail : chiiki@chubu-gu.ac.jp